

人権学習会「デフビーチバレー」の様子



かなり前の話で恐縮です。今月10日（水）に、人権学習会「デフビーチバレー」を実施しました（写真左）。全校児童が参加しました。講師は、デフビーチバレー日本代表瀬井達也選手と山本将隆選手のお二人です。通訳の方にも来ていただきました。このお二人には、これまで、もう何年も続けて来ていただき、児童にお話しいただいています。

今回のテーマは「きこえない世界を知る」ということで進めていただきましたが、その学びはとても深いものになりました。

「『障害があるってかわいそう』だなんて思ってほしくない！」音が聞こえない（聞こえにくい）世界で生活している方々にとって、「聞こえないこと」は「当たり前」の状態です。日々の生活の中で、不便を感じることはたくさんあるとのことですが、聞こえない状態であることを取り上げられて、一方的に「かわいそうだ」と思われることが、本当につらいということでした。「絶対にそう思ってほしくない」強くお話をされていらっしゃいました。「自分たちにとっては、『聞こえない（聞こえにくい）世界』という環境の中で、当たり前で生活をしているのだから」まさにその通りだと思いました。

一方で、聞こえない（聞こえにくい）状況にある方は、聞こえにくい状態にであるということに気付いてもらいにくいという現状があることもわかってほしいということでした。「補聴器を付けている」「手話で会話をしている」「ヘルプマーク（耳マーク）を付けている」そんな人を見かけたら、意識をしてみしてほしいというお話でした。「顔の正面に向いて話をする」「口元を隠さない」「うまく伝わらないと感じてもあきらめず、続けてほしい」そんな思いも伺いました。

全体の学習終了後、4年生が、さらに具体的なお話を伺ったり体験をさせていただいたり、より深く学ぶ機会をいただきました。（写真右は、後日実施した、その後の学習の様子）

この「人権学習会」は、台場小学校の特色の一つです。学校の人権スローガン「自分も大事 友達も大事 認め合い」が当たり前にある人間関係を育むための一つの取組です。このような学習を通し、子どもたちが違いに気付き、違いを認め、違いを受け入れ、様々な場面で対応していくことができるように成長していくことを、学校として願っています。